

## 1. 7月全国行事

- |           |           |
|-----------|-----------|
| 1) 国民安全の日 | 7月1日      |
| 2) 全国安全週間 | 7月1日～7月7日 |

## 2. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

3. 他社の事故・災害事例から : コピー用紙を取り出していて腰痛

## 4. 今月のヒヤリハット

## 1. 7月全国行事

- 1) 国民安全の日 7月1日

国民の一人一人がその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、産業災害、交通事故、火災等国民の日常生活をおびやかす災害の発生の防止をはかることを、目的とする。

- 2) 全国安全週間 7月1日～7月7日

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全認識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で87回目を迎える。

平成26年度の全国安全週間のスローガンについては、安全に関する経験やノウハウを産業の違いや世代を超えてつないでいくことの大切さを確認しつつ、それぞれの事業場において安全意識を高め、安全に対する慣れや過信を捨てて、労働災害の防止に取り組むとともに、第三次産業を中心として事業者と労働者が一体となって取り組む日々の安全活動を推進し、労働災害の撲滅を目指す観点から以下の通りとする。

### 「みんなでつなぎ 高まる意識 達成しようゼロ災害」

この全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図る。

## 2. 安全衛生巡視 良い事例(抜粋)

## 仙台工場

- |   |   |
|---|---|
| <p>①屋根のすきまを発砲ウレタンで自前処理している。(雨や雪の侵入防止)</p> | <p>②イソナイトのスラッジ受けを自前作成して冷却後の工数削減につなげている。(反転させて振動させるとすぐにはがれる)</p> |
|---|---|



3. 他社の事故・災害事例から : コピー用紙を取り出していて腰痛

＜災害のあらまし＞

女性事務職員(28歳、勤続5年)が月曜日の朝、事務所に隣接した事務用品倉庫棚の奥からコピー用紙(2包、重量14kg)を中腰で取り出していた際、足もとがよろめいて腰部に激痛が走り、そのまま動けなくなって、入院加療5日間の災害になりました。

＜災害の主な原因＞

- ①腰に負担がかかる中腰の姿勢で、重量があるコピー用紙の包み2個を無造作に取り出して持とうとしたこと。
- ②事務用品倉庫の棚には、コピー用紙が棚の奥まで置いてあり、奥から包みを出す際は取り出しにくく、腰などに負担がかかる体勢になりやすかったこと。
- ③被災者はこの日の朝、風邪気味でグズル子供を保育園に連れて行き、出勤が遅れるなどしてストレスが溜まっており、慎重さに欠けた行動になったこと、など。

＜同種災害の防止対策 例＞

- ①コピー用紙を取り出したり持ち運ぶ際は、一度に多く取り扱わない。
- ②コピー用紙等の重量物を保管する場合は、取り出す場合のことを考えて、重たいものは手前に置くなどする。
- ③事務職員等に対しても、腰痛の予防・防止等の安全衛生教育を実施する、など。

4. 今月のヒヤリハット:各事業場より提出されたヒヤリハットです。危険予知活動に利用してください。

**「数秒の安全確認怠らず 今日も一日無事故の日」**

事例	フォークリフトで運搬中のドラム缶が転倒しそうになった。
どこで	倉庫内。
あらまし	倉庫内をフォークリフトでドラム缶を運搬中、左にハンドルを切った時、パレットに載せてあったドラム缶がすべり転倒しそうになった。
原因	フォークリフトでドラム缶を運搬中、急ハンドルを切ったこと。
教訓・対策	フォークリフトで品物を運搬する際は、急ハンドルを切る等はしない。

5. その他

クールビズ期間中の節電について

今年も蒸し暑い季節になってまいりました。電力消費量が増加する夏季にむけて、空調機器の抑制的な稼働など節電対策に協力願います。

**「出来ることから即実践、習慣付けよう省エネ職場」 H26年環境保全最優秀作品**